



組合員、OB諸先輩のみなさん、御家族のみなさん、新年おめでとうございます。そして、JR東労組運動への御理解、御協力に感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

私たちJR東労組の組合員は安全安定輸送と良質なサービスの提供に懸命な努力を続けてきました。その結果、JR東日本は厳しい経営環境のもと3年ぶりに連結単体共に黒字となりました。赤字の克服と黒字達成は職場での奮闘と努力が結実した結果であることは明らかです。しかし、年末手当の団体交渉において、会社より納得感が持てる回答を得ることができませんでした。会社回答に対して職場からは不満の声が多く出され、また将来に不安を持つ社員が増えています。会社は「過去最高の働き度」と言われる社員の奮闘と御家族の御協力をしっかり受け止め、応える姿勢を示すべきであったと思います。「変革2027」実現に向けてスピードだけが求められ、「組織再編」「融合と連携」に対する現段階の到達点は、職場現実とあまりにもかけ離れていると感じずにはいられません。

そして、『安全』は経営のトッププライオリティーと掲げていますが、言葉だけになっていないかと危惧します。安全風土の根幹を揺るがしかねない事故や事象に対して「隠ぺい」する体質が現れています。安全よりも施策が優先され、「最低限の安全」が蔓延れば、乗客と仲間の命を脅かす事態になりかねません。職場から原因究明委員会の議論を巻き起こし「安全なくして労働なし」を自らに据えて、安全で安心して働ける職場を私たちの手でつくり出していきましょう。JR東労組は職場現実と社員の声から目を背けずに「やるべきことはやり、言うべきことは言う」スタイルを堅持し、「社員と家族の幸福の実現」に向け引き続き奮闘していく所存です。

また、盛岡地本にとっては地方ローカル線の見直しの動きは重要な課題です。10月1日に改正地域公共交通活性化再生法が施行されました。今後、再構築協議会への参画、実証事業への政策提言など、運動づくりを「地方ローカル線と地域の未来を創造する連絡会」の皆さんと共に、横のつながりを強化しながらつくり出していきます。

私たちJR東労組盛岡地本は「組合員の雇用と生活を守る」という基本スタンスを置きながら「安易な赤字路線の廃止反対、地域の足を守り、地域に貢献し、みんなに親しまれる鉄道をめざそう」というスローガンを掲げて、今やれることを構想しながら取り組んでいきます。

世界各地で行われている戦争・紛争は決して私たちとは無関係ではありません。イスラエル・パレスチナ、ロシア・ウクライナ、中国・台湾問題など一部権力者による支配体制づくりと、軍事産業・軍産複合体が利益を得るために戦争が行われています。その犠牲になっているのが罪もない一般の人々、弱い立場の方々です。現実を直視し、無関心では駄目です。私たちは憲法9条を守り、平和を希求する地域の方々、連帯する労働組合の方々と連携を強化し平和の警鐘を訴えていきます。

2024年も多くの課題が山積された中での活動となります。すべての運動に組織強化・拡大を据えて、組合未加入者の方々に未来を切り拓いていくために東労組への結集を強く訴えていしましょう。組合員・御家族の皆様にとって、良い一年となることを御祈念申し上げ、年頭の御挨拶と致します。